



# びわ湖にふれよう 人に感じよう

## 活動のねらい

- 琵琶湖を大切にしたいという人の思いや願いを共感的に受けとめることで、琵琶湖などの自然を守っていかうとする態度をはぐくむ。

【時 期】 通年

【場 所】 湖岸と学習室

【時 間】 各約40分

【準備物】 ●家庭用電源●長机●プロジェクター●スクリーン  
(●専用マイクロフォンセット●ミジンコ●黒メダカ 等)

## 主な活動の流れ

### 琵琶湖の生き物とともに活動する人の思いや願いを感じとろう!

#### ① 琵琶湖の水中音を試聴する。(講師)

- ※一度に10人ずつ専用ヘッドホンで水中音を聴かせる。
- ※家庭用電源を確保できればどの港でも寄港地での活動の一つとして実施できる。
- ※荒天時には録音済みの琵琶湖各地の水中音を学習室で試聴する。



#### ② 琵琶湖の生き物とともに活動する人の話を聞く。(講師)

- ※スクリーンの映像とともに、スジエビ、メダカ、ミジンコの発する音を聴かせる。(黒メダカやミジンコ等を飼育・準備すると、生の音を聴くこともできる。)
- ※メダカやミジンコなど自然が生み出す音の豊かさを感じるとともに、水の大切さやいのちの大切さについての話を聞かせる。



#### ③ 講師の方と学習の場を共有し、感じたこと、考えたこと、学んだこと等を発表しあう。

#### 参考資料

※講師の山崎久勝氏は滋賀県環境学習支援センターが運営する環境学習情報ウェブサイト「エコロレーガ」(<http://www.ecoloshiga.jp/>)に登録されている。主な活動内容としては琵琶湖の水中や河川の水中音を聴く。メダカやミジンコの水生生物が出す音を聴く。全国一斉水質調査、および調査への参加に向けた事前学習などがある。その他、外来魚駆除やミジンコの生態についての映像の視聴及び講話も可能。事前の打合せが必要。